

「こんなひどい被害は初めてだ」「七夕豪雨よりひどい」

9月23日の台風15号による被害は、現在分かっているだけで

床上浸水299件、床下浸水474件

河川被害8河川、橋梁被害2カ所、きょうりょう 県道（平松、神増地区）ほかの土砂崩れなど、地域は限定しているものの、市内全域に甚大な被害をもたらしました

被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます

今、この復旧にたくさんの方の温かい思いが届いています

被災地では、ご近所同士で復旧作業や生活支援で助け合い

消防団員が作業にあたり

市内外から643人の災害ボランティアの方が現地に入り

ふるさと納税サイト（返礼品なし）には多くの寄付が集まっています

たとえ何もできなくても、心配してくれる、気遣ってくれる

それだけで、苦勞されている方々にはありがたい

復旧が加速していきます

必要としているのは「力になりたい」という思い

みんなが一日も早く安心した生活ができるように力を合わせましょう

※被害件数は令和4年9月30日現在の確認件数

※災害ボランティア数は令和4年10月2日現在の延べ人数

力になりたい、思い



各地の災害支援に行っていますが、他と比べて、かなりの土砂被害だと思います。
森さん（40歳代）

浜松市在住ですが、勤務地が磐田市です。何かしたいと思い、駆けつけました。
桐島さん（50歳代）

市内在住の高校生ですが、被害を知って1人でも参加しようと思いました。
鈴木さん（10歳代）

市内在住の高校生ですが、磐田市のためと思い、休日を利用して参加しました。
柿原さん（10歳代）

専門学校の先生がボランティアのことを教えてくれ、参加しようと思いました。
竹山さん（10歳代）

浜松市在住ですが、被害状況を知って、自分も何かしたいと思いました。
村越さん（10歳代）

被災者の方、また生徒のためと思い、男子サッカー・バスケット部員一同、部活を中止して支援にきました。
浜松聖星高校 伊藤先生

ボランティアに参加していただいた 皆さんの思い

よく山歩きをする場所の被害をみて、夫婦で参加しようと思いました。
伊澤さん（30歳代、20歳代）

遠方にいる友人の実家が被害に遭い、友人に代わり支援しようと思いました。
鈴木さん（20歳代）

参加する団体で災害支援をしており、今回も参加しようと思いました。
浅井さん（50歳代）